

南白小の未来をえがく！

令和5年7月14日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

校長室だより 第10号

～子供たちの未来が明るくなるように～

国語で、言語感覚を磨く。

言語感覚とは、

言語感覚とは、言語で理解したり表現したりする際の正誤・適否・美醜などについての感覚のことである。話したり聞いたり書いたり読んだりする具体的な言語活動の中で、相手、目的や意図、場面や状況などに応じて、どのような言葉を選んで表現するのが適切であるかを直観的に判断したり、話や文章を理解する場合にそこで使われている言葉が醸し出す味わいを感覚的に捉えたりできるということである。

言語感覚が深まる場面をみることでできた学習の紹介です

国語…4年生 一つの花

「一つの花」は、有名な教材です。ゆみ子が「一つだけちょうだい。」という言葉は心に響く言葉です。学習したのは、お父さんが戦争に行く時の場面です。

他の家族

- ・多くの人で見送っている
- ・「ばんざい」や軍歌の声でにぎやか

ゆみ子の家族

- ・3人だけ
- ・「小さくばんざい」など

ホームでのゆみ子の家族と他の家族を対比

しながら読み取っていきました。対比することで言葉や文の読み取りも正確になり、ゆみ子の家族のさみしさを感じることができています。

最後にお父さんが「一つだけのお花、大事にするんだよう——。」と言いながら、ゆみ子にコスモスを渡しました。「大事にするんだよう——。」に続く言葉を考えました。「コスモスを思い出してね」「お父さんのこと、忘れないでね。」などと、子供は考えました。場面にあった言葉を選ぶ子供たち、よく考えているなど感心しました。



ペアで意見交換



国語…5年生 みんなが過ごしやすい町へ

みんなが過ごしやすい町を調べ、報告文を書こうという学習です。

このマークはなに？



“みんな”とは健康（障害）・性別・言語・年齢に関係なく、すべての人

まず、ピクトグラムの「トイレ」、「車いす」などのマークなどを提示していきます。“みんな”という言葉にこだわり、学級の考えをすり

り合わせます。次に報告書の書き方を学びました。「何について調べるか決めよう」とつぶやきが聞こえ、やる気を感じることができた学習でした。

報告書の書き方

- 1 きっかけ
- 2 調べ方
- 3 分かったこと
- 4 まとめ

報告書は、こう書きます



府中第六中学校の生徒があいさつ運動に！

4年ぶりに六中の生徒があいさつ運動にきてくれました。頼もしい限りです。

中学生、頼もしい！

